



JHFレポート

(社)日本ハンググライディング連盟 発行

2000年3・4月号

空の自由と安全を守る。フックアウト死亡事故発生。ミス防止するのはフライヤー自身だ!

1月23日(日)茨城県でハンググライダーの死亡事故が発生しました。フックアウト、つまりカラビナのかけ忘れが原因で、パイロットはランチャー台前方の木の根元に頭から突っ込んだと見られます。死因は頸骨の骨折。亡くなったSさんは、神奈川県在住の67歳の男性。ハンググライディング歴7年。1997年夏にXC証も取り、毎週のようにフライトに通っていました。当日は、朝のうちフォローで、11時近くに風向きが変わり、テイクオフ可能な条件に。11時を少し過ぎた時、Sさんは3基あるランチャー台のひとつに上がり、「テイクオフします」と声に出すこともなく(周囲にいた人たちはSさんの声を聞いていない)走り始めました。その足音で振り向いたフライヤーが、カラビナがかかっていることに初め

て気付いたのです。Sさんは、ランチャー台に上がる前にも、誰にもハングチェック(カラビナが正しくかかっているかどうかの点検)を頼んでいません。何故、そんなことになったのか。台に上がってからでも、自分で点検するのはもちろん、近くの人に見てもらうことができたはず。少くとも「出るよ」と声をかければ、誰かがフックアウトに気付いた可能性は、かなり高かったはずです。

ほんの3ヶ月前には、パラグライダーのベテランパイロットが、ハーネスのレッグベルトを締め忘れてテイクオフし、高度約200mから墜落し亡くなっています。フックアウトもレッグベルト締め忘れも、飛行前の点検さえ充分ならば防ぐことができるだけに、残念でなりません。このようなミスを防止するには、フライヤーひとりひと

りがプレフライトチェックの重要性を理解し、習慣にするしかありません。また、うっかりミスをするような時は、自分で点検しておきながら気付かないこともあり、必ず誰かにハングチェックやクロスチェックを頼むことも大切です。自分がカラビナをかけ忘れたりハーネスベルトを締め忘れただうなるか、想像してみてください。そして、自分自身の安全を守るために、できるだけのことをしてください。

事故は、フライヤー個人の問題に止まらず、スカイスポーツ界全体に大きなダメージを与えます。空の自由は、フライヤー各人の行いにかかっていることをお忘れてなく。

誰でも「事故はイヤだ」と思っていますが、それでも起きてしまったらどうすべきかも考える必要があります(P2参照)。

フライヤー登録の期限が切れたら JHF フライヤー会員に

2000年1月1日、(財)日本航空協会のフライヤー登録(航空スポーツ登録制度)がJHFに移管され、「JHF フライヤー会員登録」が始まりました。といっても、慌てないでください。航空協会のフライヤー登録がまだ有効な人は、期限が切れるまでそのまま大丈夫です。期限が切れる約2ヶ月前にJHFから更新の案内と会費振込用紙が送られるので、その用紙を使って郵便局またはコンビニエンスストア(2000年4月更新分から可)で会費を振り込み、JHF フライヤー会員登録に切り換えてください。これまで航空協会にフライヤー登録したこと

のない人は、新規用の用紙でフライヤー会員登録をすることになっています。(次ページのQ & Aを参考にしてください。)

フライヤー会員の会費は1年間3,500円。3年間なら1万円で、500円お得。JHFにとっても、会員証発行が3年に1回で済むので、経費をおさえることができ得。1年と3年どちらでもかまわないという人は、ぜひ3年登録を。

フライヤー会員登録をした人には、直接「JHFレポート」を送付。但し、発行月の前月末*の登録データを基に発送リストを作るため、発行月に入ってから会員登録した

人には、その次の号から1年分または3年分のレポート送付になります。

*前号で、発行月の10日に発送リストを作るとお知らせしましたが、作業が間に合わない恐れがあり、前月末に変更しました。

3月28日にJHF総会を開催

3月28日(火)午後1時から、東京都羽田空港ターミナルビル・ビッグバード「シリウスの間」で、1999年度JHF3月通常総会が開かれます。全国の正会員(47都道府県連盟代表)が出席し、JHF定款の一部改

正や2000年度の事業計画・予算等の議案について、決議される予定。午前中には、正会員とJHF理事、監事が集まって情報交換する場も設けられます。議案等の詳細は、各正会員にお尋ねください。

JHFレポートが隔月刊に

2000年1月1日から、JHFフライヤー会員登録が始まり、JHFレポートの個人発送もスタートしました。これに合わせてJHFレポートが隔月刊になります。発行日は偶数月の20日。この3・4月号の次は、4月20

日発行の5・6月号です。5・6月号からは現在の倍の16ページになる予定。発行日の間隔が2ヶ月もあくので、その間のできるだけ早くお伝えしたい情報はホームページに掲載します。http://jhf.skysports.or.jp/

空のかお

その30



中目 みどり(なかのめ みどり)さん
前田 悟(まえだ さとる)さん

新婚ホヤホヤのおふたり。バラで出会い、バラ仲間に祝福されながら昨年の7月にスイスでゴールイン! 式後すぐにフライトに行ってしまったというバラ夫婦。日本のバラ夫婦を目指してください。お幸せに!

JHFフライヤー会員登録が始まった!!

財団法人日本航空協会のフライヤー登録(航空スポーツ登録制度)のハング・パラグライダー分がJHFに移管され、2000年1月1日からJHFフライヤー会員登録が始まりました。これで「会員から集めた会費によって運営される」本来の連盟の姿になったわけです。登録移管に合わせて、規程の見直し等も進んでおり、JHFは少しずつ上昇中。もうすぐトップアウトできるかな...というところ。

さて、始まったばかりのフライヤー会員登録について、誤解や質問がまだまだあるようです。次のQ&Aを読んで、新しい登録のことをよく知ってください。

Q.航空協会のフライヤー登録はまだ有効だけれど、JHFにも登録しないとイケないの？

A.航空協会とJHF、二重に登録する必要はありません。更新の時にJHFフライヤー会員登録をすればOKです。更新前も、技能証申請やポイントシステム登録等ができますので、ご安心を。

Q.会員番号は変わるの？

A.下6桁は変わりません。都道府県にまたがる引越しをした場合は、JAの後の2桁が変わります。登録が切れた人が改めて登録する場合でも、過去のデータは残っているの、その番号が使われます。

ただし、約15年以上前にフライヤー登録をした人の中には、下6桁が変わる人がいます。

Q.しばらく登録をしていませんでした。

どうやって登録手続きをしたらいいの？

A.JHF事務局に電話・ファクス・電子メールのいずれかで連絡してください。専用の振込用紙が送られてくるので、必ずその振込用紙を使って、会費(登録料)を振り込むこと。

Q.会費(登録料)を振り込んだのに、まだ会員証が届きません。

A.JHF事務局に電話・ファクス・電子メールのいずれかで連絡してください。会費を振り込んだという情報がJHF事務局に届くまでに日数がかかる場合があります。送金から会員証が届くまで、およそ2週間かかります。

Q.会費(登録料)はどうやって払うの？

A.これまで航空協会にフライヤー登録をしていた人には、登録更新時期の2ヶ月ほど前に、JHFから更新のお知らせと会費振込用紙が届きます。また、航空協会に登録したことのない人は、技能証申請実績を持つJHF教員のいるスクールで、新規用申込兼振込書がもらえます。どちらかの振込用紙を使って、郵便局またはコンビニエンスストア4月更新~で振り込んでください。現金書留や直接持参は不可。第三者損害賠償責任保険への加入日を明確にするため、公共機関等の振込日記録が必要なので。

Q.住所・氏名が変更になりました。どうやって手続きをすればいいの？

A.電子メールかファクスでJHF事務局に連絡を。必ずフライヤー登録番号またはJHFフライヤー会員番号を明記してください。

Q.有効期限ギリギリで会費(登録料)を振り込みました。大丈夫ですか？

A.会費を振り込んだ日が有効期限が切れる前なら、登録はそのまま継続されます。有効期限が切れてから会費を振り込んだ場合は、振込日が有効日の始まりになりません。第三者損害賠償責任保険は振込日から発効するので、登録が切れている間は、事故を起こしても保険が適用されません。要注意。

Q.手元に届いた会員証の記載事項が間違っていました。

A.会員証の印字の漢字やローマ字が違ったら、電子メールかファクスでJHF事務局に連絡してください。すぐに修正した会員証が郵送されます。新しい会員証が届いたら、先に届いた会員証は破棄を。

Q.会員証を紛失してしまいました。再発行してください。

A.航空協会のフライヤー登録証の再発行については、航空協会に問い合わせてください。JHFのフライヤー会員証の再発行は、JHF事務局にファクスで依頼を。手数料の1,000円は銀行または郵便局からJHFに振り込んでください。会員番号、氏名、住所を明記のうえ、手数料を振り込んだ時の送金控えを空いたスペースに添付してファクス送信を。

(社)日本ハンググライディング連盟事務局
TEL.03-5840-8311 FAX.03-5840-8312

電子メール jhf@skysports.or.jp
郵便振替 00180-8-650201

日本ハンググライディング連盟

県連ニュース

宮城県ハンググライディング連盟
宮城の空フライトエリアガイドブック

先般1月号で私共宮城県安全対策委員会作成「宮城の空フライトエリアブック」プレゼントのお知らせをしましたところ、たくさんの方から応募頂きました。ところが当初は順調に働いていたFAXの調子が突然不調になり、FAXでの受付ができなくなってしまいました。大勢の方にご迷惑をおかけして大変申し訳ありませんでした。現在はFAXの修理も終わり、準備万端整え発送の待機中です。どうぞ再度ご応募ください。お待ちしております。

この情報の問い合わせ先ならびに宮城の空フライトエリアガイドの申込先
〒983-0832 仙台市宮城野区安養寺1-32-31
宮城県ハンググライディング連盟
広報担当・川越敏明 FAX.022-234-7905
[川越敏明]

栃木県ハング・パラグライディング連盟
パラグライディング日本選手権予選会開催

3月4日(土)・5日(日)に古賀志山でパラグライダーの日本選手権予選会を行います。お問い合わせは、当連盟事務局まで。
TEL.0286-52-5531 漆畑 [谷古宇端子]

愛知県フライヤー連盟
連盟設立5周年記念PG大会開催

愛知県連設立5周年事業の最終イベント、「パラグライダー大会」の予定が決定しました。空飛ぶ仲間が集まって、楽しい企画を準備中です。豪華な賞品、賞金も準備中。皆さん、ふるって参加してください。開催場所：新城スカイパーク
開催日程：4月22日土曜日(悪天候の場合は翌日23日に順延)
出場資格：NP・P・各県連登録者
参加費：2,000円(愛知県連会員)
4,000円(愛知県連会員外)
競技内容：爆弾落とし・ターゲット
大会についてのお問い合わせ、申し込みは下記をお願いします。
〒441-1338 新城市一楸田字北神田平 38-46

伊藤広道方 新城パラグライダー協会
TEL. & FAX.05362-6-0114
詳しい内容は連盟ホームページにも掲載しています。
<http://www1.ocn.ne.jp/~aff/>
(アドレスが変更になりました。)

[山口貫太郎]

事故が起きてしまったら...

事故は思いもかけぬ形でやって来る。日頃から安全を第一に考えるのはもちろん、危険な状況に陥っても決して諦めてはならない。また、近くで事故が起きた時のため、人口呼吸や気道確保の方法を知っておきたい。頭を強打した場合、首の骨を折っていることもあるので、頭を後ろにそらせて気道確保する「頭部後屈法」は絶対やってはいけない。下顎をひき上げる「下顎上法」で。これについては、各都道府県の日本赤十字社の救急法普及課が講習を行っているの、ぜひ参加を。

委員会の動き

PG競技委員会 委員長 岡 良樹

そろそろ、春の匂いが近づいてきました。クロカンシーズンも本番といったところでしょう。今年は条件に恵まれ、久しく塗り替えられていない記録を更新してもらいたいものです。今一つ盛り上がりがないクロカンリーグですが、クロカンはパラグライダーの楽しさと醍醐味を味わえる素晴らしいものだと思います。是非チャレンジしてみてもどうでしょう。勿論、初めての空域を飛ぶことになるので、飛んで行くであろう地域の事前のチェック(特に他の航空機の迷惑にならないか)と気象条件の確認は最低限しておかなければならないのは言うまでもありませんが、また、たった一人で飛ぶのは心細いもの。2人以上でチームを組んでクロカンに出るのが良いでしょう。無線で状況を話し合いながら飛べば、サーマルヒットの確率も高くなり、万が一の場合でも手を貸すために降りることを予め決めておけば、安心です。

HG競技委員会 委員長 大澤 豊

皆さん、もうポイントシステムへの登録はお済みですか? まだ登録をしていない方は早めにポイント登録をしましょう。大会の開催案内が送られてきますよ! 新規登録希望の方はホームページを閲覧いただくか、事務局へお問い合わせください。

また、4月30日～5月5日に岩手県遠野エリアで開かれる日本選手権はFAIカテゴリー2にて開催の予定です。参加を考えている選手はFAIスポーティングライセンスの取得をされるよう準備をしてください。ライセンスを取得していないと参加できませんのでご注意ください。申請から取得まで2週間以上かかりますので、開催日の1ヶ月前までにJHFに申請を。

また、2001年度日本選手権開催地の立候補がありません。開催をご検討の方は早急に届け出をされますよう、お願いします。尚、事務局にメールをくだされば競技委員会インフォメーションをお送りします。

HG競技委員会事務局 FAX.0299-44-1346
E-mail:haku@tomato.saino.ne.jp
http://tomato.saino.ne.jp/haku/JHF-HG.html

教習検定委員会 委員長 島野 広幸

只今(1月26日)委員会の最中です。今日のメインテーマは「教員更新講習について」。教員が常に新しい情報を得られるように、付加価値の高い予算の使い途を検討しています。

もうひとつ、学科検定員制度が新しくなります。これは、現在は都道府県連盟の推薦により委嘱している学科検定員制度を廃止し、教員であれば誰でも学科検定を行えるようにするものです。このシステムによって、学科検定は随時可能となり、いろいろな経費も削減されます。練習生にとっても教員にとっても、またJHFにとってもメリットのある改定です。実施は、2000年4月1日からになる予定です。

常設委員会の委員を募集中

JHFには常設の委員会があり、委員はそれぞれの課題に取り組んでいます。この3月31日で、全委員の任期が切れます。そこで、JHFは来期委員候補を募集中です。連盟活動に前向きな意見を持っている人、大歓迎。ぜひ立候補を。問い合わせ・立候補の届けはJHF事務局へ。募集委員会は以下のとおり。任期はそれぞれ2000年4月1日から2年間です。

パラグライディング競技委員会(5名)

世界選手権への選手派遣、日本選手権への審判員派遣、公認大会の審査、競技ルールの改定などを行う。

ハンググライディング競技委員会(5名)
世界選手権への選手派遣、公認大会の審査、ルールブック改定などを行う。

教習検定委員会(6名)
教員・助教員の育成、検定などを行う。

制度委員会(5名)
JHF 規程・制度の検討などを行う。

補助動力委員会(5名)

補助動力全般にかかわる業務を行う。問題集の作成、技能証の見直しなど。

安全性委員会

ハング・パラグライディングの安全にかかわる業務を行う。登録機体の審査、事故調査、事故統計調査など。

選挙管理委員会

JHF 役員選挙に関する一切の業務を行う。(現役員の任期は2001年3月31日まで。)

理事会ダイジェスト

1月15日理事会

2000年1月15日(土)13時30分～17時
JHF事務局会議室 出席:川添喜郎・小林朋子・朝日博・横尾和彦・岩間雅彦・田中美由喜・松田保子・松永文也各理事 欠席:関谷暢人・星野納・渡邊敏久各理事、坂本三津也・宮川雅博各監事 議長:朝日博

JHF2000年度事業計画案について審議

小林が月別にまとめた、2000年度の具体的な事業計画案について審議。原案に多少流動的な部分があることを認めたくして採決。賛成7で案を可決。

学科検定員制度廃止について審議

教習検定委員会担当の岩間から、JHFのすべての学科検定員制度を廃止する案が出され、これを審議。案の一部(学科合格の証明方法を保留にしたうえで、賛成7で可決。2000年4月1日から、学科検定員制度はなくなり、JHF教員であれば誰でも、随時学科検定を行えるようになる。

業務委託契約について審議

11月理事会から継続審議。事務局長の横尾から提出されていた、JHF業務の委託先・支払い金額等の案を審議。賛成7で可決。2000年度はこのとおり業務を委託する。但し、JHFレポート編集は松田保子・宮澤明の2名ではなく「松田保子ほか」に委託する。

学生連盟からの要望について審議

学生フライヤー連盟から出されていた二つの要望について審議。賛成7で要望を受けることに決定。これによって、学生連盟がホームページを作るにあたり、JHFのサーバーの使用を認める。また、年に一度の学生選手権(ハング・パラグライディング両方)の勝者に、JHFからメダルまたはそれにかわるものを授与する。

PG日本選手権開催地について審議

1999年12月31日に立候補を締め切った、2001年パラグライディング日本選手権の開催地について審議。立候補していた山形県ハング・パラグライディング連盟に、賛成7で可決。2001年10月、山形県西置賜郡白

鷹町の「しらたかスカイパーク」で開催の予定。

定款改正について審議

事務局長の横尾より、JHF定款の改正案が提出された。第9条第1項第2号と第17条第3項に「禁産者」という不適切な表現があるため、これを改めることについて審議。制度委員の沼田敦子から出された案文のとおり改正することを、賛成7で可決。総会で承認を得たくして改正する。

2000年度JHF収支予算案について審議、12月理事会の審議結果を盛り込んだ内容の2000年度JHF収支予算案が、予算編成室担当の朝日より提出され、これを審議。賛成7で案を可決。各正会員にこの案を送付し、意見を募る。

*

この「理事会ダイジェスト」は、理事会で話し合われたこと、決まったことのポイントをまとめたものです(審議事項はすべて掲載)。議事録が必要な方は、各正会員(都道府県連盟)までご連絡ください。

パラグライディングのジャパンリーグ・SPS・XCリーグ、ハンググライディングのポイントシステムの、1999年ランキングが確定した。みごとチャンピオンになったのは、世界を舞台に活躍する扇澤郁さん、初エントリーの薬師寺哲さん、XC上位常連の小脇義憲さん、そして大ベテランの外村仁克さん。それぞれ、競技やXCフライトに「はまった」きっかけ等を語ってもらった。



写真提供：クロスカントリー日本版

PG ジャパンリーグ

1位 扇澤 郁 (おおぎさわかおる)
パラグライダーメーカーのテストパイロット。PG歴12年。富山県在住。40歳。年間ランキング1位は実に4度目。

いつも飛んでいるんでしょうね。

晴れたら飛んでいます。世界選手権やワールドカップの練習のつもりで国内の大会に出ているんですが、99年Jリーグで勝てたのは、自分なりのいいペースで競技できたから。いま考えているのは、このまま世界に照準をあてて飛ぶのがいいのか、それともスタイルを変えてコンスタントに勝てる方がいいのかってこと。

何故競技の世界に？

競技という場が好きで、以前は自転車やスキー、テニスの大会に出ていました。国体選考会に出たり。で、パラは世界に通用するぞという話で、どんどん.....。

来年は世界選手権です。

今年はプレ大会なので、それもあって昨年は肩の力を抜いて飛べた、かな。来年はもちろん頑張ります。応援してください。

ジャパンリーグ上位者

1位	扇澤 郁	富山県	235.3点
2位	川地 正孝	神奈川県	211.6点
3位	武尾 拓	山梨県	210.2点
4位	長島 信一	埼玉県	193.0点
5位	辻 強	茨城県	186.5点
6位	伊澤 光	東京都	184.4点
7位	加藤 豪	兵庫県	160.5点
8位	松永 文也	埼玉県	158.5点
9位	只野正一郎	兵庫県	155.1点
10位	宮田 歩	茨城県	153.5点
女子1位	田中美由喜	東京都	102.5点
女子2位	水沢 典子	栃木県	88.5点
女子3位	神山 和子	茨城県	86.3点

PG スポーツパラグライダーシリーズ

1位 薬師寺 哲 (やくしじてつ)
PG歴7年の会社員。昨年初めてSPS(ス



左から野村、薬師寺、小笠原の各選手。撮影：佐名木真吾

ポーツパラグライダーシリーズに参加し、いきなり1位に。愛知県在住。31歳。

飛び始めたきっかけは何ですか。

たまたまテレビでパラが飛んでるのを見て、何となく始めたんです。初めて飛んだ時、異和感がなくて「これはいいかも。やらずにちや」と思いました。

競技は以前から？

5年ぐらい前から草大会に出ているんですが、98年のSPS大会が楽しそうだったので、99年はエントリーしました。初戦で優勝できたので、これはいけそうだと。

今年もSPSで連覇を狙いますか。

競争するよりゲームを楽しむ感覚でSPSに参加しました。今年はSPSの方は後輩に頑張ってもらって、Jリーグにも力を入れて、より楽しく飛ばそうと思っています。

SPS上位者

1位	薬師寺 哲	愛知県	292.0点
2位	野村 延史	千葉県	228.0点
3位	小笠原 悟	岐阜県	196.3点
4位	松村 浩之	東京都	183.0点
5位	野呂 哲也	東京都	180.0点
5位	長田 修一	栃木県	180.0点
7位	井岡 孝一	東京都	166.8点
8位	古川 健一	大阪府	151.5点
9位	岩田 良憲	長野県	131.1点
10位	阿部 俊宏	山梨県	129.0点
女子1位	深谷美代子	千葉県	84.6点
女子2位	松田由紀子	茨城県	63.7点
女子3位	中目みどり	東京都	46.6点



PG XCリーグ

1位 小脇 義憲 (こわきよしのり)
XC(クロスカントリー)リーグ1位はなんと5回目。自営業。広島県在住。39歳。

何故パラグライダーを？

昔から空を飛びたかったので、ラジオでパラのことを聴いて、すぐスクールに行きました。二つ目のスクールで本格的に。

XCに夢中になったきっかけは？

10年ほど前に40kmぐらい飛んで、とても楽しかったんです。それ以来。XCは自分の好きな時に飛べるので、大会より楽し、いろいろなところに飛んで行けるのもいいですね。

最高記録は何キロですか。

昨年5月末、広島県の荒谷山から岡山に飛んだ86kmです。昼頃テイクオフして、40kmあたりで下がったけど盛り返して、降りたのは4時頃。とても、いい気持ちでした。

XCリーグ上位者

1位	小脇 義憲	広島県
2位	山下 慎吾	茨城県
3位	横堀 清	茨城県
4位	児島 彰	広島県
5位	斉藤 竜男	東京都



HG ポイントシステム

1位 外村 仁克 (とのむらよしかつ)
ハンググライダースクール&ショップ経営。HG歴22年。大阪府在住。46歳。

競技、好きですね。

競技するのがおもしろい。ハングの前はボクシングで国体に出たり、ヨットレースに出たり。ハングは、飛び始めて2年目ぐらいで日本選手権に出て、みんなで飛んでおもしろいなど。それで病みつきになってしまった。スクール生には、大会に出るとみんな同じコースを飛ばすから、日頃自分のやってることが正しいかどうかわかって、すごく勉強になるよってお勧めしてるんですけど、自分は違う。勉強とか何とかの前に、やっぱり好きやねんな。

長いこと第一線の選手です。

体重が54kgしかないから、初めの頃は不利なことがあった。最近では軽い人用のいい機体が開発されて、互角に戦えるようになったので、メーカーに感謝してます。

ポイントシステム上位者

1位	外村 仁克	大阪府	208.62点
2位	大門 浩二	茨城県	194.21点
3位	峰岸 正弘	茨城県	183.25点
4位	藤田 直己	東京都	182.10点
5位	波多野康雄	兵庫県	173.42点
6位	今嶋 功	鳥取県	169.09点
7位	鈴木 博司	三重県	163.47点
8位	阿部 貢造	千葉県	161.50点
9位	松村 学	茨城県	155.63点
10位	富原 淳	埼玉県	153.46点

HGのXCリーグは登録なしでした。

私たちの

クラブ

です!

Hummingbird Paraglider Club

ハミングバードパラグライダークラブ

ハミングバードパラグライダークラブは1990年、当時JMB立山パラグライダーズスクール校長だった扇澤郁氏が中心になって結成・発足しました。現在は、スクール卒業生を主体とした、会員数約130名の富山県下最大規模のクラブになっています。

ホームエリアである立山は、例年「らいちょうバレーカップ」が開催されており、コンペティターにはおなじみの場所。富山県立山黒部アルペンルートの麓にあるスキー場で、雄大な立山連峰をバックに飛べるビッグエリアです。テイクオフポイントまでゴンドラで行け、ランディングエリアは広いグレンデと、好条件が揃っています。また、全員のほとんどはエリアから30～40分のところに住んでいるので、自宅からテイクオフポイントに無線を入れ、コンディションを聞いてから飛びに来ることができます。時間が空いたときにマイペースで飛べる、気軽に来れるエリアです。

クラブ会員は20代から70代まで、老若男女を問わず和気藹々と楽しく活動しています。年齢層が幅広く大所帯だけに、それぞれの楽しみ方を追求するサークルが、クラブ内にできました。「ツアースクールらいちょう」は全国各地のエリアに出向き、フライトに観光に温泉にと楽しんでますし、「チームC」はコンペに参加したり練習した

りと、若者中心に活動しています。基本的に同じクラブ員なので、サークル間の交流もあり、サークルに入っていない人も随時活動に参加したりと、上手くまとまっています。

クラブの主な行事の一つとして、クラブ主催の大会「トミーズカップ」があります。クラブ員はもちろんスクール生も一緒に、楽しくかつ真剣に毎年開催しています。内容は、クラス1はパイロンレース、クラス2は水運びレースです。水運びレースはコップに水を入れ、そのコップをハーネス下部に取り付けてテイクオフし、ランディング後に水の残量の多い選手が勝ちというものです。

普段のフライトでも、クラブ員に目標を持って飛んでもらうため、セルフコンペという企画で、競技フライヤーは年間成績に応じて表彰しています。また、個人的に頑



老若男女それぞれ楽しんでいる(ホームページから)



立山連峰をバックにテイクオフ(ホームページから)

張って飛んでいる人も、スクールの協力を得て表彰し、励みになるようにしています。最近では、エリアの外にミニクロスカントリーに出る人がいたり、新しいサーマルポイントの開発をしたり、それを地図に記入して情報交換したり、お互いの秘密ポイント情報やテクニックや疑問などを電子メールでやりとりしたりと、自分たちのエリア再発見計画で盛り上がっています。

こんな立山エリアに、ぜひ皆さんも飛びに来てください。クラブの設立者、扇澤氏もよく立山に出没しますので、いろんな最新情報を聞くことができ、彼の飛びも見られるかも。あまりののんびりさ、立山の雄大さに、時間がすぐくゆっくり流れている気分になれますよ。

当クラブへのご連絡はTEL.0764-81-1256まで。<http://homepage1.nifty.com/pikaichi>

若林 恵子 記

ハロー

パラグライディング (その10)

ギブアップしないために

立春を過ぎ、だいぶ日も長くなってきましたが、練習生のみなさんにはフライトチャンスが少ない、つらい時期かもしれません。そこでパラグライディングをギブアップしないためのポイントを、まとめました。

1. お金がなーい!

A級課程が終わると、高々度飛行を目指したB級の練習が始まります。たいていのスクールでは、この時点で自分の機材を揃えます。一式数十万円の機材は、飛び始めて日が浅い人にはちょっと驚きです。でも「自分の命」を預けるには、「自分で責任もてる機材」であることが必要なのです。なんとかなる人は、インストラクターのお勧めを聞いて、早めに揃えましょう。「お金がなーい」という人、だからといってギブアップするのはもったいないですよ。せっかく始めたパラですから、人が飛んでいるのを見たり、スクールにお願いして、できる練習をさせてもらったりしてはいかがでしょうか。タンデム飛行を何度かやってみるのも良いでしょう。「自分にもできる」という自信がつけば、無理して機材

を揃えても決して後悔しないはずですよ。

2. 何回エリアに行っても飛べない!

冬は北西の季節風が吹きます。北日本では積雪などでクローズになるエリアも多いですね。太平洋側でも一部のエリアを除いて、季節風が強く吹き込むようなときはフライトできない日が多く、サーマル活動が盛んなため、パイロットが飛べても練習生はだめなことも多いです。「飛べない」「どうせ飛べないだろう」「行かない」という悪循環の中で、足が遠のいて、パラから離れてしまう、ということもあります。確かにつらいですが、この時期は思い切って考えを変え、地力をつける「チャンス」としましょう。グランドハンドリングからはたくさんの方が学べます。徹底的にやってみましょう。初夏になったら、テイクオフはきっと別人のようになり、空中でのキャノピーの動きがわかるようになっていくことに気づくでしょう。

3. なんだか怖くなった……

友人がツリーランするのを見たり、けがの話やと「やっぱりパラは怖い」と感

じます。今までは楽しい話ばかりだったのに、なんだか急に不安になります。けれどもあなたが、「技量・使用機材・飛行するエリア環境を良く知ったインストラクターの管理・指導の下で飛ぶ」とすれば、事故に遭う可能性は極めて少ないのです。常に管理されているなんて、「せっかく飛ぶのに自由がない」と思われるかも知れませんが、ソアリングもできるし、大いに楽しめます。「パラに怪我がつきもの」の時代は終わり、「一度も怪我をしない、一度も落ちない」時代です。

4. マイペースで行こう

なかなか上達しなくて悩むこともあるでしょう。「走れ、走れ!」と頑張っていると、「腕は前に出すな!」と言われても、容易にはできません。マイペースで行きましょう! 早く飛べるようになれば良いわけではありません。技術を身につけて飛べるようになった後、どれだけ「長く続けていける」かが大切なのです。

(ハロー PG は今回で終わります。皆さん、楽しいフライトを! 宮澤 明)

理事からひとこと

会長 川添 喜郎

新橋から文京区春日の新事務局へ移転して1ヶ月が過ぎました。局内の整理が一段落したので、今度は他所に預けてある20年分の書類を引取ります。40箱以上ある歴史的書類を整理するには1年ぐらいかかるでしょう。JHFを築き上げてくださった先達のご努力が掘り起こされるとと思います。

1月より開始したJHFフライヤー会員登録制度は、順調に稼働し始めました。小林副会長をはじめ、細かく準備に携ってこられた関係者に深く感謝。

今、理事会では2000年度の事業方針・計画・予算案を作成、3月総会に向けて準備しています。各都道府県連盟で充分討議され、よりよい案となりますように。

昨年の6月総会で約束したことをひとつひとつ実現すべく奮闘中。今年度の少ない予算の中で、JHF全体が着実な成果をあげたこと、深くお礼申し上げます。

副会長 小林 朋子

フライヤー会員証の発行が進んでいます。1月中には約700枚の会員証を発行する予定です。1月初めから勤務を始めた新しいスタッフと協力して、速やかな発行作業を目指しています。思いがけないご質問や苦情に驚いたり反省したりしています。現状に満足せず、今後も皆さんからのご意見を反映できるよう努力したいと思います。

今年度の残りは、技能証の申請・発行システムの改良に力を注ぎます。来年度からは、総会でご承認いただけたら、かねてから考えていた集金システムの構築に取り組みたいと思っています。これらを完成させて、申請者と事務局の双方にとって有効な環境を整えていくのが、私の目標です。

常任理事 朝日 和博

1月の連休を利用して遠くまで飛びに出かけた。日常の仕事や家庭を忘れて、本当に贅沢な時間を持つことができた。ピジターの私たちにはみんなが親切にアドバイスをしてくれた。空中ではハング、パラがひとつのサーマルの中、数機が入り乱れていっしょに上がっていく。大変緊張するときでもある。互いに表情は見えなくても信頼を感じているからできることだ。

山ではJHFのことなど意識にはないが、空を愛するフライヤーと共にいるということだけで嬉しい。皆の飛びを見ながら自分の飛行コースを考える。着陸場ではお互いのランディングを暖かく見守る。知らない者同士すぐに近くなれる。お酒を飲みながら楽しく語る。これこそフライヤーが享受できる最高の特典であると思った。

常任理事 関谷 暢人

最近の天候はおかしい。フライト確率が意外と高いのだ。おかしな天候ではあるが我々フライヤーにとっては良いことであ

る。この要因は日本上空のジェット気流の蛇行が弱く、東西にかっ飛んでいるために冬型気候が安定せず天候がころころ変わり、そして気温も上がっているらしい。そのせいなのが「ラニーニャ現象も起こっている」と報じられた。最近、暖冬という言葉を目にするが、これは過去30年間の平均気温に対しての近況を判断しているらしい。これだけ世界的に都市の開発近代化が進めば都市型気候となり気温も高まる傾向に変化するわけで、TVニュースで美人アナウンサーが「今日は平均気温に比べて暖かいですよ」ということもなくなるかもしれない。地球温暖化で北極の氷が溶け、大洪水で死ぬのはいやだが、フライトできる日が増えることはウエルカムである。

常任理事 横尾 和彦

NHKのBS放送で放映された「FAI特集」皆さんご覧になりましたか。パラグライディング・ハンググライディング世界選手権の模様を、選手と一緒に飛ぶトライクから撮影したものでした。普通見ることのできない、とてもエキサイティングな映像で、「とてもよかった、また放映してください」と、NHKに電話しました。

皆さんも、TVその他のマスメディアでパラやハングの放送等をご覧になったら、その評価を伝えてはどうでしょうか。

2000年度からの常設委員会の委員募集が始まりました。理事会では、新しい事業をいろいろと考えています。その方針・計画に賛同して、事業の実現に向けて邁進していただける方、ぜひ立候補を。ご応募をお待ちしています。

理事 岩間 雅彦

残念なことに私の所属する板敷エリアでついに死亡事故が起きてしまいました。(事故の概要は1ページのとおりに)

この事故は、ハングチェックを行っていればもちろん防げた事故ですが、せめてテイクオフすることを声に出して周囲に告げていけば、まだ事故を防ぐチャンスはかなりあっただけに、残念な気持ちで一杯です。

フックアウトやパラグライダーのレッグベルトの締め忘れは、ベテランも練習生も関係なく、誰にでも起こり得ることです。自分は大丈夫と思った瞬間から、フックアウトを起こす確率が大幅に増すことを忘れてはなりません。ハングチェック(クロスチェック)はもちろん大切ですが、離陸直前にカラビナやレッグベルトを自分で確認するファイナルチェックをすべてのフライヤーが習慣づけて欲しいと思います。

理事 田中 美由喜

2000年度の事業計画案もほぼまとまり、新しい年に向かってのJHFの方向性がより明確にフライヤーに伝えることができると思います。JHFとしてできること、できな

いことをはっきりとし、実情に合った事業展開が望まれるところです。

話は変わりますが、日本滑空協会の専門部会であるクロスカントリー・競技飛行委員会主催で女性パイロットフォーラムが開催されます。初めての試みであるが、女性が人生の過程を経ながらライフワークとしてスカイスポーツにどのようにかかわっていくかを模索するという試みとのこと。同じスポーツを愛するもの同士、それぞれが集まってスカイスポーツの将来を話し合う機会を持つことはすばらしいことと思う。ぜひ見習っていきたくて考えています。

理事 松田 保子

新年度目前。2000年度の事業計画案を作るために、理事会でいろいろなプランについて話し合ってきました。事務局、各委員会活動、普及や広報出版関係等々、それぞれにやりたいことがたくさんあるのですが、予算は限られています。会員ひとりひとりから預かっている大切なお金、少しでも収穫が大きくなるような使い方を考えねばなりません。広報出版局担当の私としては、フライヤーの皆さん、そして社会一般にハング・パラグライディングの情報を、迅速かつ正確にお伝えするにはどうしたらいいか、頭をひねっているところです。いつもひねっているためか？首や肩がまわらない今日この頃。皆さん、智恵を貸して！

理事 松永 文也

先日レッグベルトの締め忘れ事故を目の当たりにしました。パイロットの無線線のスイッチが入ってしまっているため、インストラクターの指示もテイクオフからの緊急連絡も伝わらず、ハーネスにぶら下がっている状況なので、グライダーの操作は不可能という手の施しようの無い状態でしたが、メガホンを使ったインストラクターの適切な指示と、運良くグライダーが山に向かってくれた事が相まって重大な事態には至らずに済みました。実は過去にも一度同様の事故を目撃しており、知人が二人ばかりやらかしてしまっているのですが、幸いこれらの4人は無事こらえきって着陸しています。このような事故はもちろん予防が第一ですが、もしやってしまった時はあきらめない事がなによりも大切だなあと感じました。

広報出版局員募集

JHF 広報出版局員を募集します。ハング・パラグライディングの情報をいろいろな形で伝える仕事をしてみたいと思う方、ぜひ立候補してください。18歳以上の男女で、ハングまたはパラの経験者。技術レベル問わず。文章を読んだり書いたり得意な人。ご連絡は、JHF事務局に電話かFAX、Eメールで(jhf@skysports.or.jp)。

INFORMATION / 大空情報板

春のサーマルに乗って日本選手権開催
2000年のパラグライディング日本選手権は、立候補がないために開催地が決まらず、出場希望者をヤキモキさせていた。パラの日本選手権は気象条件に恵まれず、なんと3年連続不成立。これでは立候補を尻込みするのも無理ないという声も聞こえたが、勇気ある(?)茨城県ハング・パラグライディング連盟が手を挙げ、茨城県新治郡八郷町のエアパークCooで開催することが決まった。開催日は4月12日～16日で、万一不成立の場合は、10月6日～9日の予備日に競技を行う。これで、今年こそ日本選手権者の顔を見ることができそうだ。

エアパークCooでは、これまでも大きな大会が開催されており、多くのビッグフライトが生まれている。4月のサーマルに乗って、スケールの大きな「日本一決定戦」になることを期待しよう。



HG日本選手権プレ大会は安東正夫選手が優勝。

4月30日～5月5日には、ハンググライディング日本選手権も開かれる。開催地は岩手県遠野市宮守村の遠野フライトエリア。

あの「遠野物語」の遠野だ。国内のハングの大会では初めて、FAI カテゴリー2の大会として申請中。

前回の日本選手権者・大門浩二をはじめとする、上位常連のパイロットたちに、若手選手がどれくらい喰いついていくか、楽しみなところ。充実した競技ができますように！

2001年PG日本選手権は山形県で
もう一つ日本選手権の情報。2001年のパラグライディング日本選手権開催地として山形県ハング・パラグライディング連盟が立候補し、1月のJHF理事会で承認された。山形県西置賜郡白鷹町のしらたかスカイパークで2001年10月に開催の予定。

スペインでCIVLミーティング

FAI(国際航空連盟)のCIVL(国際ハンググライディング委員会)は、年に一度定例会議が開かれる。今年は、スペインのバルセロナで、2月25日～27日に開催。世界各国の代表委員が出席し、ハング・パラグライディングの世界レベルの問題について話し合う。今年の主な議案は、スポーティングコードの修正、2001年ワールドエアゲームズの件など。日本からは、JHFの小林朋

子副会長が出席する(次号に報告を掲載する予定。)

JHF事務局に新しい顔

12月に文京区春日に移転したJHF事務局は、大通りに面したビルの8階で、なかなかいい眺め。明るい事務所で、フライヤー会員証や技能証の発行などの業務が行われている。1月から3名の新事務局員(佐藤さん、照井さん、安留さん)も加わって、「新しい事務局」作りは着々と進行中。

さて、フライヤーのために「縁の下」で頑張っている事務局の人々を紹介しよう。

- ・横尾和彦：事務局長。多岐にわたる事務局業務をまとめる。以前はパラでバリバリ飛んでいた。常任理事でもある。
- ・小林朋子：業務担当。フライヤー会員登録のために多くの時間を費す。副会長でもあり、CIVLの日本代表委員もつとめる。
- ・照井久美子：業務担当。会員証・技能証の発行を行う。趣味はスクーバダイビング。
- ・安留雅恵：業務担当。会員証・技能証の発行を行う。オフにはボランティア活動も。
- ・柳沢理恵：経理担当。事務局女性陣のまとめ役としても活躍。
- ・佐藤礼子：総務・広報担当。DK朝霧でPGパイロット証をめざして飛んでいる。
- ・矢ヶ崎弘志：安全性委員会担当。航空スポーツの「生き字引」のような人。

1月のパイロット証取得者 (敬称略 数字は技能証No.)

パラグライディング	18246 船原 克己	18259 小林 伸司	18272 大山 洋	18285 増川 史洋	18297 平井 四朗
18234 岩村 幸輝	18247 川口 亮	18260 久村 順一	18273 大隅 継則	18286 Ortigosa	18298 山口 薫
18235 橋詰 恭子	18248 居上 智典	18261 佐藤 甚八	18274 増永 初雄	Silvio Cesar	18299 中島 章博
18236 大平 正芳	18249 菅原 洋志	18262 篠原 康宏	18275 増永 秀	18287 中村 陽一	18300 藤田 雅子
18237 加藤 雅章	18250 成田 看	18263 岩崎 安男	18276 松野 勝志	18288 平田 智久	18301 西村 研二
18238 赤尾三枝子	18251 長谷川忠明	18264 塚田 竜行	18277 川中子悠介	18289 松井 多志	18302 磯部 隆悦
18239 深田 信昭	18252 五十嵐 晋	18265 神原 幸恵	18278 今井有佳里	18290 佐藤 昇	18303 久保 安光
18240 伊藤 岩光	18253 工藤 勉	18266 大島 康典	18279 藤崎 笑子	18291 最上 裕子	
18241 上倉 恵一	18254 長谷川正章	18267 絹村 豊	18280 増戸 幟	18292 佐々木忠夫	ハンググライディング
18242 角田 正一	18255 星野 弘子	18268 三本木 浩	18281 根本 正義	18293 佐々城れい子	4839 伊藤 郷子
18243 和田 貴広	18256 松井 弘正	18269 中村 智則	18282 胸永 弘子	18294 金本 知子	
18244 吉岡 雄治	18257 大塚 正裕	18270 山崎 幸子	18283 小田部紘美	18295 津嶋 光夫	
18245 船原 晴代	18258 千葉 英夫	18271 長島 幸雄	18284 小川 初美	18296 伊藤 安明	

読者の皆さんにお願い

いつもJHFレポートをご愛読いただき、ありがとうございます。
1ページでお知らせしたように、JHFレポートは隔月刊になり、4月20日発行の次号からボリュームアップ。内容をより充実させるよう頑張りますので、よろしく。

JHFから直接レポートをお送りしている皆さんに、お願いです。住所・氏名が変わる場合は、必ずJHF事務局にお知らせください。新旧の住所や氏名・電話番号、フライヤー会員番号と有効期限を明記して、事務局にFAXを。FAX.03-5840-8312まで。封筒の宛名の下に印刷されているのが会員番号と有効期限、封入されているレポートの号数です(右の見本参照)

112-0003

東京都文京区春日
2-24-11 春日Shimaビル8F

日本 一郎様

JA330-999901 Valid.2001/01/11 (JHF Report 2000/02)



大会報告

ハンググライダー
 第11回丹沢スカイグランプリ
 ハンググライディング大会
 2000年1月8日～11日
 神奈川県秦野市横野地区
 総合1位 太田 昇吾 千葉県 1082.8381点
 2位 今嶋 功 鳥取県 1071.9007点
 3位 大門 浩二 茨城県 1031.5945点
 4位 小林 正和 千葉県 1029.1960点
 5位 大沼 浩 茨城県 943.4634点
 6位 阿部 貢造 千葉県 911.1228点
 7位 波多野康雄 兵庫県 890.0020点
 8位 鈴木 博司 三重県 818.7340点
 女子1位 井手 有生 兵庫県 670.1091点
 2位 岡田 明子 静岡県 619.3424点

3位 佐々木優子 神奈川県 608.5091点
 気圧配置が冬型になったとき丹沢はビッグコンディションとなるのだが、暖冬の今シーズンはなかなか冬型にならない。連日曇り空に悩まされながら短いタスクを設定することになった。初日、晴れ間を待つが14時過ぎにキャンセル。2日目フォローの中セットアップして13時過ぎにゲートオープン、短いチャンスを最大限に活かした小林がただひとりメインランディング場に帰ってくるが、高度不足で惜しくもゴールにはならず。3日目は北風と低い雲底が予想されキャンセル。4日目は山近辺のサーマルがよくなることが予想されたため、テイクオフポイント近辺を中心としたタスク

を設定し13時過ぎにゲートオープン、ゴールラッシュとなり初日2位タイにつけていた太田が好タイムでゴールし勝利をものにした。 山本 剛

パラグライダー
 丹那PGフライトイン 1999
 1999年12月11日・12日
 初日は強風のためフライトできず、ライズアップを行った。2日目、フォローとアゲンストが押しあった結果、フォローが勝ちウエイティングとなり、午後2時やっとなアゲンストの風が入り始めゲートが開いたが、空は雲が張り日照もなく残念ながら不成立となってしまった。 文字 英彰

大会開催予定(2000年2月9日現在)

JL: ジャパンリーグ対象 PS: ポイントシステム対象 (ジャパンリーグ対象、ポイントシステム対象、公認については申請中を含む。) 参加資格 XC: クロスカントリー証 P: パイロット証 NP: ノービスパイロット証 B: B級練習生参加可

区分	大会名	日程	開催地	参加資格	参加費	締切
公認 PG	PARAGLIDER STUDENT FESTIVAL!!	3/8～10	高嶺エリア(長野県)	B	10,000円	2/10
	〒224-0037 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南4-12-15-506 水島仁 TEL090-3698-4318					
公認 SPS	第12回ゼロカップ	4/1～2	壺石山フライトエリア(鳥取県)	P	8,000円	3/18
〒563-0043 大阪府池田市神田(株)ゼロ TEL0727-53-8890						
公認	岡山県ハンググライディング連盟パラグライダー大会'00	4/1	北房高原スカイパーク(岡山県)	NP	要問合わせ	3/17
〒719-3503 岡山県阿哲郡大佐町小阪部2240-1 おおさネイチャークラブ内 県連絡事務局 TEL 0867-98-3400						
公認 JL	2000パラグライディング日本選手権つくば	4/12～16	エアパークCoc(茨城県)	XC	40,000円	3/31
〒315-0157 茨城県新治郡八郷町大字上曾1698-1 エアパークCoo 日本選手権実行委員会 TEL0299-44-1408						
公認 JL	2000立山らいちょうバレーカップ	5/3～7	らいちょうバレースキー場(富山県)	XC	30,000円	4/22
〒125-0031 東京都葛飾区西水元6-22-15 立山らいちょうバレーカップ実行委員会 TEL03-3608-8626						
公認 HG	第4回日本学生ハンググライディング選手権	3/2～5	耳納エリア(福岡県)	C	12,000円	1/20
〒813-0013 福岡県福岡市東区香椎駅前3-26-32 日本学生ハンググライディング連盟 板倉 正卓 TEL092-671-7891						
公認 PS	2000板敷スプリングフライト	3/18～22	板敷山エリア(茨城県)	XC	18,000円	2/28
〒315-0164 茨城県新治郡八郷町小屋1276 茨城県ハンググライダーの会 大会実行委員会 TEL0299-43-6952						
公認	帰ってきたNASA CUP2000	3/31～4/2	足尾山フライトエリア(茨城県)	XC	要問合わせ	3/13
〒315-0164 茨城県新治郡八郷町小屋939-2 帰ってきたNASA CUP実行委員会 日下部はく TEL 0299-44-0889						
公認	リゾットウイングミーティングNASA CUP 2000	4/1・2	足尾山フライトエリア(茨城県)	XC	要問合わせ	2/29
〒315-0164 茨城県新治郡八郷町小屋576-1 NASA CUP 2000 実行委員会 上野陸 TEL 0299-43-0893						
公認	ハンググライディング足尾山オープンカップ2000	4/8・9	足尾山フライトエリア(茨城県)	XC	要問合わせ	4/2
〒315-0164 茨城県新治郡八郷町小屋939-2 フライングクラブとびがらす 日下部はく TEL 0299-44-0889						
公認 PS	ハンググライディング日本選手権大会 in岩手	4/30～5/5	遠野フライトエリア(岩手県)	XC	30,000円	3/30
〒023-0827 岩手県水沢市太日通り2-3-17 コーポ拓7号 佐藤 研二 TEL0197-25-2197						

検定会開催予定(2000年2月9日現在)

PGP:PGパイロット学科 PGNP:PGノービスパイロット学科 HGP:HGパイロット学科 XC:PG&HGクロスカントリー学科 補助:補助動力学科 PGT:PGタンデム学科 HGT:HGタンデム学科 (いずれも数字は定員)

開催日	時間	開催地	会場	PGP	PGNP	HGP	XC	補助	PGT	HGT	主催者	電話番号
3/5(日)	10:00～12:00	愛媛県喜多郡五十崎町	五十町中央公民館	10	10		10	5	10		愛媛県ハンググライディング連盟	089-935-6617
3/12(日)	10:00～20:30	石川県石川郡鶴来町	鶴来町フライヤー協会	20	30	5	10		5	2	舞ウイング	07619-3-0658
3/26(日)	9:00～12:00	熊本県阿蘇郡阿蘇町	阿蘇ネイチャーランド	10	10		10		10		阿蘇ネイチャーランド	0967-32-4196
3/26(日)	9:00～20:30	愛知県渥美郡田原町	AIR WORK	15	15	15	15	15	15	15	愛知県フライヤー連盟	0587-93-5111

JHF 技能証発行数(2000年1月31日現在)

ハンググライディング	P証		パラグライディング	P証	
	数	累計		数	累計
	4,839	18,303		18,303	
	6,792	8,784		8,784	
	11,394	64		64	
	10,806	39,774		39,774	
	124	123		123	
	1,092	43,204		43,204	
	25	152		152	
		907		907	
		3,592		3,592	
		198		198	

JHF ホームページもご覧ください。 <http://jhf.skysports.or.jp/>

JHF レポート3・4月号(No.158)

発行日 2000年2月20日 定価10円
 発行 (社)日本ハンググライディング連盟
 〒112-0003 東京都文京区春日2-24-11 春日 Shimaビル8階
 TEL.03-5840-8311 FAX.03-5840-8312
 編集 JHF 企画部広報出版局
 印刷 日本印刷(株)
 この印刷物は再生紙を使用しています。